

和田公民館

## 和田地区の概要

和田地区は佐倉市の最東端に位置し、12の地区より構成されている。昭和29年の市制発足以前は「和田村」と称し、明治22年から14の村落で構成されていた。面積は市全体の約14%に当たる14.38平方キロ、人口は約1.1%に当たる1,970人、世帯数は767世帯で、農業が盛んな地域である。

大正頃までの農家の主な産物は米・養蚕であったが、昭和初期になると養蚕が衰え、里芋・落花生・甘藷に変わる。戦後、豚の飼育が盛んになり、昭和27年頃には全国的に有名な養豚地区となる。その後、養豚・酪農・大和芋と専門化され、大型機械の導入も盛んに行われている。

このように専門化された農業地域においても、年々農業従事者は減少し、後継者育成にも大きな問題をなげかけている。地区全域が市街化調整区域のためもあり、人口は減少傾向を示している。また、少子化、核家族化など都市化傾向もみられ、青年層の地域外流出、高齢者層の増加など、純農村として構成されていた社会は変化し続けている。また、地区内を国道51号線と東関東自動車道が通り、佐倉インターチェンジが隣接しているため、和田地区内にも企業の物流基地が進出しており、新たな変化も見られる。

平成11年12月、和田地区の中核施設として和田ふるさと館が開館した。和田出張所、和田コミュニティセンター、和田地域防災集会所、和田農産加工実習所の複合的機能を持つ施設となっている。

また平成12年度には、和田公民館分館として歴史民俗資料室の展示工事を実施し、平成13年4月1日に和田ふるさと館歴史民俗資料室が開室した。

### 和田地区のデータ

【平成26年3月末現在】

○和田地区：面積	14.38km <sup>2</sup>	(佐倉市：面積	103.59km <sup>2</sup> )		
○ 〃	：住基人口	1,970人	( 〃	：住基人口	175,575人)
○ 〃	：人口密度	137人/km <sup>2</sup>	( 〃	：人口密度	1,695人/km <sup>2</sup> )

# 1. 公民館運営計画

---

## 運営方針

佐倉市立公民館運営計画を基本として、常に地域の実態をとらえながら、使いやすく、親しみのある教育施設として住民の自主的交流・集会・学習などの活動を助成し、地域社会教育活動の中心としてその役割を果たすことに努める。

## 努力目標

- 使いやすく、親しみのある館の環境づくりに努める。
- 地域性を生かした学習内容の充実をはかる。
- 公民館事業と地域団体活動等を効果的・有機的に結びつけていく努力をする。

## 事業内容

### 1. 学級講座に関する事業

参加者手作りの学級・講座を開設し、それぞれに趣味・教養的学習から専門的学習に至るまで、日常生活に密着した幅の広い学習を展開すると共に、地区住民としての共通の課題を探り、参加者がそれぞれの立場で考え、学習しながら実践に結びつけていくための足がかりとする。

### 2. 団体育成に関する事業

はたおり保存会・和田小PTA民俗資料収集委員会等の社会教育的団体が自主的、継続的に活動ができるよう資料の提供や、各機関との連絡調整などの援助を行う。各種の住民団体が円滑な活動を進められるよう援助・協力をする。

### 3. 歴史民俗資料室展示事業

平成13年4月1日に和田ふるさと館内に開室した歴史民俗資料室において、和田地区民俗資料（佐倉市指定文化財）を中心として、展示・収蔵・調査研究・教育普及活動、及び伝統技術等の保存継承活動を行い、地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくりの拠点とする。

### 4. 広報に関する事業

「公民館だより」の発行 年4回発行

### 5. 図書事業

市立図書館との連携により、図書案内を充実し、リクエスト制度などにより利用増を図る。  
(蔵書約1,800冊 貸出し1人10冊 15日間)

### 6. 施設・設備・備品の提供

開館 月～日曜日 午前9時～午後5時 (祝日及び第2第4月曜日は休館)  
※火・金曜日の夜間(当分の間午後9時まで)

## 2. 公民館利用状況

---

---

年度別利用状況

区 分	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
利用件数 (件)	503	472	446	436	464
利用人数 (人)	6,467	4,647	5,623	5,759	5,532
開館日数 (日)	322	320	324	322	333

# 事業報告

領域	事業名	対象	期間・回数	内容
家庭教育	子育て教室	2・3歳児と保護者 24組	5/24 5組 6/7 3組 6/21 7組 7/19 6組 9/13 8組 9/27 7組 10/18 8組 11/29 6組 12/20 6組	楽しい親子遊びをとおして、幼児の自立のための親の役割、環境作りや遊びの意義などについて共に考える機会とする。
	楽しく家庭教育講座	小学生以上の保護者	11/6 10人	子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
青少年教育	和田剣道教室	地区の小学生 20人	5月～3月 毎週土曜日 15人	異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。
	軽スポーツ大会	地区の小学生 20人	10/20 34人	地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
	夏休みおもしろ体験教室	地区の小学生 20人	7/25 14人	保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
	佐倉っ子塾 料理教室	地区の小学生 各20人	6/8 14人 10/13 14人 2/2 19人	地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
	佐倉っ子塾 伝統文化体験教室	地区の小学生 各15人	7/20 12組 7/30 7人 2/16 20人	和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
成人教育	佐倉・城下町400年事業 「ミニわらじづくり」	市内の成人 12人	2/16 8人	江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”わらじストラップ”を作る。
	佐倉学体験講座 ふるさと味工房	市内の成人 各15人	9/27 8人 12/6 14人 1/24 6人	地域の伝統的食材を活かして地域間交流を図るとともに食文化の伝承を図る。【太巻き寿司、大和芋、和田の新鮮野菜料理等】

	佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地 域塾	市内の成人 15人	6/12 13人 6/26 13人 7/10 15人 9/11 15人 9/25 3人 10/9 11人 10/23 12人	地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
	和田地区防災訓練	地区の成人 50人	1/26 54人	地域づくりの活動として、現場で役立つ防災や防犯について実践的な訓練を行う。
	佐倉学び塾 朗読：声に出して読 む楽しさを味わおう！	市内の成人 15人	1月10日 9人 1月24日 11人 2月7日 11人 2月21日 10人 3月14日 11人	市民の自主性に基づき、教えたい伝えたい事について市民自身が講師となり、参加者とともに学びあい、教えあう。
高齢者教育	長命大学手芸教室	60歳以上の地区 の成人 10人	4月～3月 第1・3火曜日 (8月は除く) 5人	手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切に作る心を子どもたちに指導する。
	長命大学交流会	地区の成人 45人程度	3/6 15人	長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。
団体育成	団体育成事業	和田小PTA民俗 資料収集委員会・和 田はたおり保存 会・和田地区青少年 育成住民会議	通年	地域の社会教育団体、住民団体等が継続的に活動できるよう、協力援助する。
広報活動	公民館だより発行	和田地区全世帯	9月号 700部 10月号 700部 12月号 700部 2月号 700部	公民館情報や地域情報を和田地区全世帯に配布する。(各700部)
	歴史民俗資料室展示	一般	4月～3月 1876名	和田ふるさと館歴史民俗資料室の展示及び市内小学校の社会科見学の際に解説を行う。
図書	図書貸し出し	一般	通年	公民館図書コーナーの図書提供のほか、市立図書館と連携しリクエスト図書の提供を実施する。

# 1. 家庭教育事業

## 子育て教室

- ① 開設趣旨 楽しい親子遊びを通して、幼児の自立のための親の役割、環境づくりや遊びの意義などについて学習する。
- ② 募集対象、募集人数 地区の2～3歳児とその保護者 24組
- ③ 学習目標 親子のスキンシップを図る方法を学び、各家庭でも実践できるようにする。  
保護者同士がコミュニケーションをとることにより、子育て環境の向上を図る
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	5月24日(金) 10:00～11:30	ふれあい遊びで親子のスキンシップを深めます。	蓮 淳子
2	6月7日(金) 10:00～11:30	大小の布やタオルを使って遊びます。	〃
3	6月21日(金) 10:00～11:30	絵具や粘土遊びの楽しさを体験します。	〃
4	7月19日(金) 10:00～11:30	身近にある材料で魚釣りをします。	〃
5	9月13日(金) 10:00～11:30	いろいろな運動遊びを体験し、運動機能と発達を見直します。	〃
6	9月27日(金) 10:00～11:30	ビニール袋に大きく絵を描きます。	〃
7	10月18日(金) 10:00～11:30	自然と触れ合いながら広場で思い切り走ります。(佐倉城址公園で実施)	〃
8	11月29日(金) 10:00～11:30	言葉のやり取りと集団遊びを体験します。	〃
9	12月20日(金) 10:00～11:30	親子発表で思い出をつくりましょう。	〃

## ⑤ 講座を終えて

昨年に引き続き、教室を修了した親が講師補助として事業に参画し、地域の中で助け合って家庭教育を学習する環境が出来つつある。初めて親となった参加者から兄や姉がいる子育て経験者まで参加することにより、子育ての悩みを相談できる良い交流の場となっている。

## 楽しく家庭教育講座

- ① 開設趣旨 子どもがよりよく育つために、家庭の働きや、あり方、方法などを学習する。
- ② 募集対象、募集人数 主に地区の幼稚園、小学生の保護者 15人
- ③ 学習目標 ものづくりや作品を通して家庭内で会話を増やす機会を増やす。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	11月6日(水) 10:00～12:00	アメリカン陶芸体験	藤原 真由美

## ⑤ 講座を終えて

昨年までの家庭教育講座受講者が自主活動を行うようになり、公民館は特別講座を開設し、参加を促した。アメリカン陶芸はあらかじめカップやソーサーなどの形が出来上がっており、参加者は集中して

絵付けを行うことができた。

## 2. 青少年教育事業

### 和田剣道教室

- ① 開設趣旨 異年齢集団の中で、剣道をとおして心身の育成と社会人として必要な習慣を身につける。  
そのために協力して共育（共に育て合う）の場となるよう努める。
- ② 募集対象、募集人数 和田地区在住の小学生 20人
- ③ 学習目標 剣道を通して礼節を学び、たくましい心身を作る。  
仲間の大切さを知ると同時に、お互いに切磋琢磨することの重要性を学ぶ。
- ④ 平成25年5月11日～平成26年3月8日 39回
- ⑤ 指導者 片岡 康平、江野沢 清美、藤崎 英樹、伊達 幸子
- ⑥ 講座を終えて  
剣道の「礼に始まり 礼に終わる」を基本に子どもの心身の訓練や仲間づくりを図ることができ、親の会についても昨年に引き続き、自主稽古を企画するなど活発に活動した。また、7月21日～22日には佐倉草ぶえの丘にて一泊二日の剣道合宿を行い、厳しい稽古とともに楽しい思い出をつくることができた。

### 軽スポーツ大会

- ① 開設趣旨 地域の協力で各種軽スポーツを実施し、子どもの健全育成を図る。
- ② 募集対象、募集人数 地区の小学生 50人
- ③ 学習目標 軽スポーツを通して楽しく異世代間の交流をすることにより、和田地区の福祉の向上や青少年健全育成を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	10月19日(土) 10:00～12:00	ユニカール・スカイクロス・キャッチザステイック(和田小学校体育館で実施)	スポーツ推進員

- ⑤ 講座を終えて  
和田地区青少年育成住民会議と和田地区社会福祉協議会と共に実施し、地域の子供と地域住民が交流し、青少年の健全育成を地域で考える場になっている。  
当日は雨天のため、通常のグラウンドゴルフではなく、体育館で実施できる軽スポーツを行った。チーム分けでは、小学生と地区の大人と一緒にプレーすることができるようにし、異世代間交流を図った。

### 夏休みおもしろ体験教室

- ① 開設趣旨 保護者と地域の協力により、子どもたちに共同生活体験の機会を提供し、子どもの自主性、協調性、社会性を高める。
- ② 募集対象、募集人数 地区の小学生 20人
- ③ 学習目標 1. 料理の楽しさと食べ物大切さや食事を作ることの大変さを学ぶ  
2. 自分で作る楽しさと道具の使い方を学ぶ
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月25日(木) 9:00~16:30	もっと速く走りたい!走り方レッスン (和田ふるさと館にて実施) みんなで料理にチャレンジ 引き出しつき本立てを作ろう	NPOニッポンランナーズ 六崎 美知代 高梨 直子 佐倉職業訓練協会

⑤ 講座を終えて

学校では体験できない活動を行うため、スポーツの専門家、職業訓練協会にて講師をしている大工を講師に迎えて体験教室を行った。

また、昼食では料理や片づけなどを自分で行うことで、日常生活の中における保護者の大変さや感謝の気持ちを再認識することができた。

### 佐倉っ子塾料理教室

- ① 開設趣旨 地域の食材を活かした料理教室を実施し、子どもの自立とふるさとへの愛着を深める。
- ② 募集対象、募集人数 地区の小学生 20人
- ③ 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、共に料理を作ることによって子どもたちを地域で見守り育む場とする。  
男女に関係なく生きるために食生活において自立する事を目的とする。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	6月 8日(土) 9:30~12:30	ハンバーグ、ホットポテトサラダ、えのきのふわたまスープ、あじさい寒天	六崎 美知代 高梨 直子
2	10月13日(日) 9:30~12:30	シーフードの中華丼、人参のそぼろいため、ミルクビスケット	〃
3	2月 2日(日) 9:30~12:30	焼きそばスティック、キャベツとソーセージのカレーマヨあえ、チョコチップクッキー、ミニチョコパフェ	〃

⑤ 講座を終えて

和田地区青少年育成住民会議と共に実施し、毎回低学年から高学年まで参加する人気の事業となっている。子どもたちは料理に興味をもち、作る楽しさやできたときの喜びを感じていた。

### 佐倉っ子塾伝統文化体験教室

- ① 開設趣旨 和田のはたおりや手工芸、凧作りなど、伝統文化の体験学習を通じて創造力を育む。
- ② 募集対象、募集人数 はたおり親子体験 市内小学生親子 午前午後各6組  
夏休み編み物体験 地区の小学生 15人  
ライトプレーンに挑戦 地区の小学生 20人
- ③ 学習目標 地域住民や地域組織と協働し、子どもたちを地域住民で見守り育む場とする。

④ プログラム

回	月日(曜日)	学 習 内 容	講 師
1	7月20日(土) 10:00~12:00 13:00~15:00	はたおり親子体験	和田はたおり保存会

2	7月30日(火) 10:00～14:00	夏休み編み物体験	手芸教室生徒
3	2月16日(日) 9:00～14:00	ライトプレーンに挑戦	青少年育成相談員

⑤ 講座を終えて

はたおり体験は、和田はたおり保存会の協力を得て、親子で伝統文化を体験する場を提供することができた。

夏休み編み物体験は、長命大学手芸教室の生徒小学生を指導し、世代間交流を実現することができた。

ライトプレーン作りは、和田地区青少年育成住民会議と青少年育成相談員との共催で実施し、毎年伝統的な彦一凧を作っていたが、今年度は凧上げ大会が会場工事のため中止となったため、制作物をライトプレーンに変えて実施した。補助の大人も楽しんで作成していた。

### 3. 成人教育事業

#### 佐倉・城下町400年事業 ミニわらじづくり

- ① 開設趣旨 江戸時代の作り方そのまま現代風にアレンジした”わらじストラップ”を作る。
- ② 募集対象、募集人数 市内の成人 10人
- ③ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	2月16日(日) 13:30～16:00	わらじストラップの作成	家庭教育講座生徒

④ 講座を終えて

昨年に引き続き、今年度も家庭教育講座の生徒が講師となり実施した。全員上手に作成することができ、本物のわらで実物大のわらじをつくりたいと意欲的な参加者もいた。

#### 佐倉学体験講座 ふるさと味工房

- ① 開設趣旨 地域の伝統的食材を生かして地域間交流を図るとともに、食文化の伝承を図る。
- ② 募集対象、募集人数 市内の成人 15人
- ③ 学習目標 和田地区の特長を活かし、地元の食材を用いて食文化の伝承を図る。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	9月27日(金) 13:30～16:00	和田の新鮮野菜料理講座	食生活改善推進委員
2	12月6日(金) 13:30～16:00	太巻き祭り寿司講座	伊藤 芙美子
3	1月24日(金) 13:30～16:00	大和芋の美味しい食べ方講座	伊藤 芙美子

⑤ 講座を終えて

和田地区の農業の特長を活かし、地元食材を用いて食文化の伝承を図ること、伝統的な技法による食文化を考えることができた。

## 佐倉学入門講座 楽しく学べる和田地域塾

- ① 開設趣旨 地域住民の協力を得ながら、和田地区の歴史・自然・生活・民俗等を学び、実際に伝統文化等の体験をし、豊かな自然を体感することにより、郷土に対する関心を高め、魅力を再発見する。
- ② 募集対象、募集人数 市内の成人 15人
- ③ 学習目標 和田地区の歴史、民俗、自然などを学び、和田地区に対する知識理解を深め、郷土愛の育成を図る佐倉学を普及推進する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	6月12日(水) 10:00~12:00	オリエンテーション 和田の歴史(下勝田の獅子舞) 歴史民俗資料室の展示物の紹介	大川 一光 公民館職員
2	6月26日(水) 10:00~12:00	はたおり体験	和田はたおり保存会
3	7月10日(水) 9:30~12:00	地元作家による陶芸体験① 製作 ～菓子皿を作ってみよう～	安本 幸世
4	9月11日(水) 9:30~12:00	地元作家による陶芸体験② 絵付け	安本 幸世
5	9月25日(水) 9:30~12:00	和田の湧水を訪ねて	NPO法人水環境研究所 岩井 久美子 大川 一光
6	10月 9日(水) 9:30~12:00	ワラ細工を作る	藤井 毅
7	10月23日(水) 10:00~12:00	和田の新米で太巻き祭り寿司作り	伊藤 芙美子 高梨 直子

- ⑤ 講座を終えて
- 佐倉学入門講座として本事業を開設したが、市内各地域からの参加があり好評を得ることができ、住民との交流や伝統文化を知る良い機会となった。

## 和田地区防災訓練

- ① 開設趣旨 地域づくり活動として、現場で役立つ防災や防犯についての実践的な訓練を行う。
- ② 募集対象、募集人数 地区の成人 50人
- ③ 学習目標 災害発生時に、落ち着いた行動と助け合いの精神を醸成する。
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	1月26日(日) 9:30~11:00	通報訓練・避難訓練・消火訓練 防災倉庫見学・災害の備えについての講義 (和田ふるさと館、和田小防災倉庫にて実施)	佐倉消防署員 佐倉市役所防災防犯課職員

- ⑤ 講座を終えて
- 和田地区防災訓練は、和田地区社協と共催して訓練を実施し、公共施設からの避難訓練、火災対応の消火訓練などを通じて防災意識を高めることができた。
- また、災害の備えについての講義では、東日本大震災の実例から、災害から復旧するために必要な備えについても学ぶことができた。

## 佐倉学び塾 朗読：声に出して読む楽しさを味わおう！

- ① 開設趣旨 市民の自主性に基づき、教えたいたい伝えたい事について市民自身が講師となり、参加者とともに学びあい、教えあう。
- ② 募集対象、募集人数 市内の成人 15人
- ③ 学習目標 1. 声を使って様々に表現する楽しさ、作品を演出する喜びを体感する  
2. 作品を深く読み取り、味わう  
3. 朗読グループやサークルの誕生を後押しする
- ④ プログラム

回	月日(曜日)	学習内容	講師
1	1月10日(金) 10:00~12:00	伝えるための表現技術はどのようなものか学びます。	柳沢節子
2	1月24日(金) 10:00~12:00	自分の読みの良さ、癖に気づくことから始めましょう。場面をイメージして読もう。	柳沢節子
3	2月7日(金) 10:00~12:00	「せりふ」と「地」の文を読み分けてみよう。	柳沢節子
4	2月21日(金) 10:00~12:00	聞き手に語りかけるように。「読む」のではなく「話す」ように。	柳沢節子
5	3月14日(金) 10:00~12:00	聴く楽しみ、聴いてもらう喜びを体験してみよう。	柳沢節子

### ⑤ 講座を終えて

講師の学習者に語りかけるという姿勢から、講座生は講師に対して好感がもてたようである。また出席率が高かったことから市民講師としての役割をしっかりと果たしていた。

講座構成が整然としており学習者にとって理解しやすいものであった。

各講座生の発表ごとに、講師の講評があり学習者の理解度と満足度を高めることができた。また講座生も朗読の魅力を感じる事ができたようである。

講座終了前の意見交換の場で受講生から、今後も柳沢講師の指導を受けたい。学習を深めたい、継続したいとの意見が多かった。

## 4. 高齢者教育事業

### 長命大学手芸教室

- ① 開設趣旨 手芸を通して親睦交流を深め、生き甲斐づくりを図る。また受講生により、再利用を通じて物を大切に作る心を子どもたちに指導する。
- ② 募集対象、募集人数 地区の成人 10人
- ③ 学習目標 心身ともに健康で生きがいのある生活を過ごせるよう手芸を通し、高齢者の親睦と生きがいづくりを進める。
- ④ 平成25年4月2日～平成26年3月18日 21回
- ⑤ 講座を終えて

夏休み編み物体験では、子どもたちへの講師としての役割を果たした。また、長年にわたる活動で手芸技術は高度なものとなっており、公民館文化展では多くの作品を出展した。

## 長命大学交流会

- ① 開設趣旨 長命大学生と地区の高齢者が集い、心身ともに健康で生き甲斐のある生活を過ごせるように、和田地区交流バス見学会を実施する。
- ② 募集対象、募集人数 地区の成人 45人程度
- ③ 学習目標 鹿島神宮（茨城県鹿嶋市）を訪ね、観光ボランティアガイドの実際を学び、地域における高齢者の役割について考える。
- ④ 平成26年3月6日 1回
- ⑤ 講座を終えて 参加者と近い世代のボランティアガイドと接する機会は、参加者に良い刺激となった。また、なかなか一緒に外出する機会がない方たちが共に参加することで、地域の連帯感を得ることができた。

## 5. 団体育成事業

---

### 和田地区青少年育成住民会議

近年、青少年を取り巻く環境は著しく変化しそれに伴い青少年に関する問題は複雑かつ深刻化している。

こうした問題の解決のため、市民1人ひとりが問題解決に取り組み、家庭や学校、そして地域がそれぞれの立場で、各種団体と行政が協同して健全育成を推進していくことを目的に、昭和57年、佐倉市青少年育成市民会議が結成された。

組織としては市内7地区の青少年健全育成住民会議と、子ども会育成連盟、PTA連絡協議会などその他構成団体からなり、事務局は佐倉市健康こども部児童青少年課が行っています。

和田地区青少年育成住民会議は、地域住民が相互に連携協力し、青少年の健全な育成と非行防止、福祉を図るため、研究並びに協議を行い、地域ぐるみ活動を伸長させることを目的としている。

主な活動としては、防犯パトロールや地域行事の企画/運営、各種団体への助成などを行っている。

### 和田小PTA民俗資料収集委員会

昭和45年、和田小学校PTAが校史編纂と民俗資料の収集活動をはじめ、46年11月に収集委員会を設置しました。収集された民俗資料は、和田小学校郷土学習室、和田公民館民俗資料室での公開を経て平成11年10月に佐倉市へ寄贈された。

ふるさとまつりでのばらっぱまんじゅう作りや、伝承遊びの実演、しめ飾り講習会など、和田の特色を生かした活動を実施。公民館では地域の民俗や歴史学習の一環として収集委員会の活動を援助している。

### 和田はたおり保存会

和田小PTA民俗資料収集委員会の活動で収集されたはたおり機を、地元の高齢者が中心となって復元し、昭和51年に和田公民館で開講したはたおり講座の受講生によって、和田はたおり保存会が結成された。公民館では、和田地区の伝統技術の保全と、はたおり機の動態保存の面から援助を行っている。

主な活動としては、年間を通じての定期活動や綿の栽培、歴史民俗資料室を訪れた小学生に対して、糸づくりやはたおり機の実演を行った。

## 6. 広報・展示事業

### 公民館だより

- ねらい 公民館主催事業の情報提供をし、公民館活動への積極的な参加を図る。
- 発行回数 年4回（9月号・10月号・12月号・2月号）
- 発行部数 各700部
- 配布方法 区長を通し全戸配布

### 歴史民俗資料室展示

- ねらい 和田地区の歴史環境・自然環境及び地域の人材を活用した地域づくり、市民の生涯学習の拠点とし、また、学校教育の支援も行う。市内小学校社会科見学において、はたおり保存会によるはたおりの実演、家庭教育学級参加者による解説を行った。
- 期間・回数 開館日数 333日 来館者数 1,906人  
うち小学校社会科見学等団体来館者数  
平成25年5月28日～平成26年1月29日 17団体 1,259人

## 7. 図書事業

### 図書貸し出し

- ねらい 読書活動を支援していくと共に、個人学習や集団学習への資料提供を行い、学習の深化を図る。リクエストの受付や他館からの返却受付などの利用者の便を図る。また、和田地区関連資料や佐倉市関連資料のコーナーを設け資料収集し、貸し出すことにより、地域理解を深めるための支援を行う。
- 蔵書数 約1,800冊

#### 月別貸出数・返却数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
貸出数	25	0	17	1	6	2	8	32	27	1	0	0	119
返却	324	179	92	144	88	279	1453	79	73	167	49	114	3041